

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	長野県知事部局					
代表者名	氏名	阿部 守一	役職名	県知事		
主たる事務所の所在地	長野県長野市大字南長野字幅下692-2					
主たる事業の分類	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）				
	中分類	98 地方公務				
主たる事業の概要	都道府県機関					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	28878	28011	28240	27604	25068
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	60771	58947	59425	57988	52364
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	15014	14563	14443	15064	13743
自動車の台数	台	1533	1533	1492	1504	1510
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	2230	2163	2346	2253	2168

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成	28	年度
------	----	----	----

計画期間	平成	29	年度～	平成	31	年度
------	----	----	-----	----	----	----

報告対象年度	平成	31	年度
--------	----	----	----

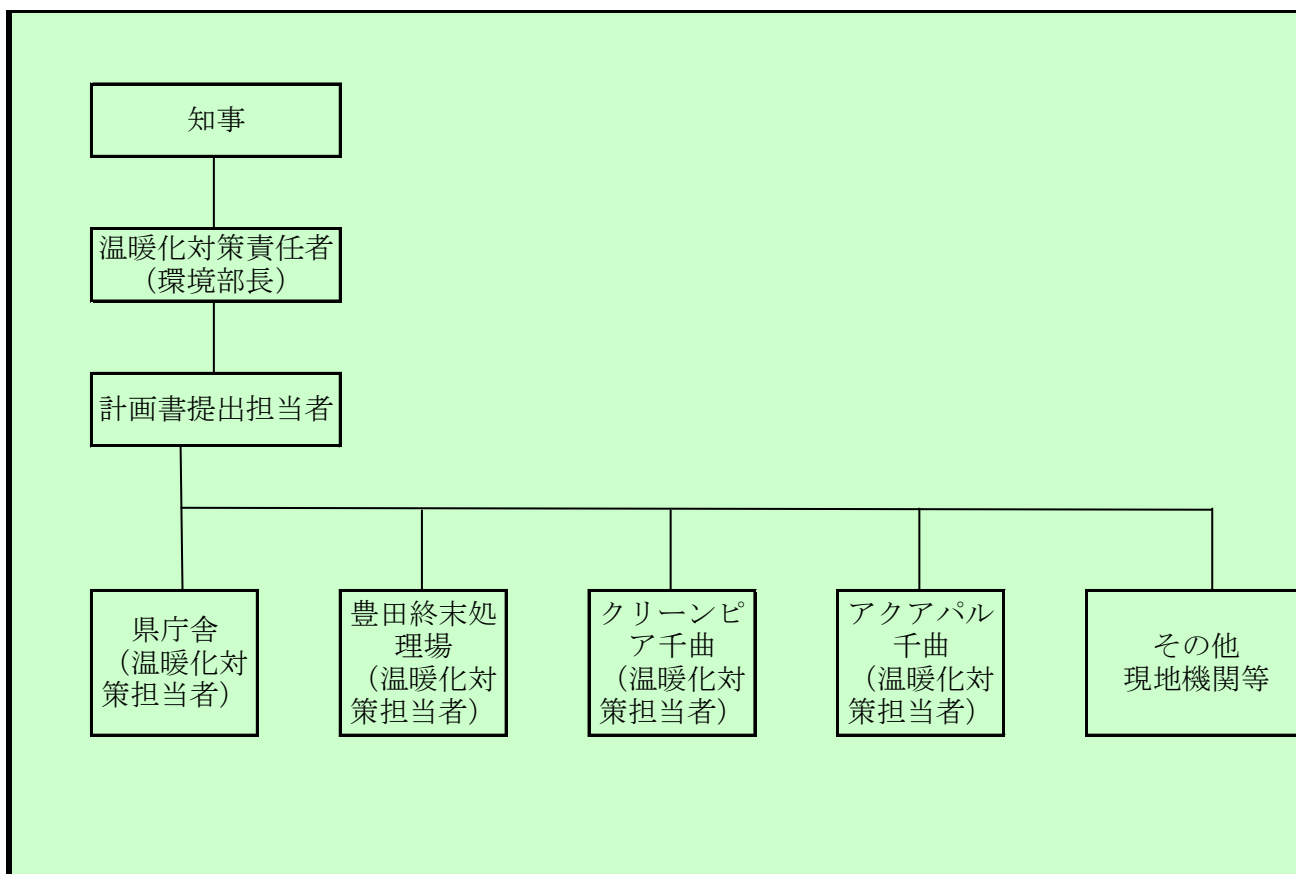
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kensei/soshiki/soshiki/kencho/kankyoen/index.html
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- ・長野県職員率先実行計画（第5次）に掲げる削減目標の達成のため、県独自の環境マネジメントシステム「エコマネジメント長野」を着実に運用し、日常業務活動における省エネルギー・省資源の実践による自らの環境負荷の低減、環境関連施策や本来業務における環境配慮の推進による地域の環境保全・創造に向けた取組等の推進を図る。
- ・県有施設の改修等の機会を捉えた計画的・効果的な省エネルギー改修、自然エネルギーの導入を推進する。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

信州省エネ大作戦実行委員会（年2回）

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	60,771	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
28年度	調整後排出量	58,841	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	58,947	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.10	%		3.1
目標設定に関する説明	<p>毎年1%の削減とし、3年間で3%の削減目標を設定した。 温室効果ガス抑制のための組織体制のもと、より一層の削減を目指す。 ※第一年度報告書において、基準年度排出量等を修正した。</p>						<p>※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。</p>	
第一年度	排出量	59,425	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	59,097	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
29年度	削減率	2.21	%	削減率		%		1.8
排出量等の増減理由	<p>・千曲川流域下水道下流処理区終末処理場において、水処理反応槽水中攪拌機及び消化タンク汚泥循環ポンプ停止時間の拡大等により大幅な減少となった。 ・千曲川流域下水道上流処理区終末処理場において、第一焼却炉故障停止による重油使用量及び電力使用量が減少となった。また、水処理棟設備における送風機運転時間の削減及び脱臭ファン夜間運転時間短縮により電力使用量が減少となった。</p>							
第二年度	排出量	57,988	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	57,918	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
30年度	削減率	4.57	%	削減率		%		-5.1
排出量等の増減理由	<p>・下水処理場の一部（千曲川流域下水道上下流処理区終末処理場及び犀川安曇野流域下水道）で排出量が増加したが、全体として、電気、燃料使用量の削減により、全体として、第一年度を上回る削減を達成した。</p>							
第三年度	排出量	52,364	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	50,908	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
31年度	削減率	13.83	%	削減率		%		9.9
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>事務事業においては、令和元年東日本台風災害対応及び新型コロナウイルス感染症対策のため、施設の稼働時間が増加したことにより排出量が増加したが、下水処理事業においては、令和元年東日本台風災害により千曲川下流の処理施設が停止し、排出量が大きく減少した。</p>							

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	15,014	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
28年度	調整後排出量	15,014	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	14,563	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	2.10	%		2.1
目標設定に関する説明	<p>・諏訪湖流域下水道豊田終末処理場で3年間で3%の削減。</p>							<p>※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。</p>
第一年度	排出量	14,443	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	14,443	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
29年度	削減率	3.80	%	削減率		%		4.5
排出量等の増減理由	<p>・千曲川流域下水道上流処理区終末処理場において、汚泥焼却量が減少した。</p>							
第二年度	排出量	15,064	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	15,064	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
30年度	削減率	(0.34)	%	削減率		%		1.5
排出量等の増減理由	<p>・千曲川流域下水道上流処理区終末処理場において、処理水量及び汚泥焼却量が増加したことによるN<sub>2</sub>Oの排出が増加したため。</p>							
第三年度	排出量	13,743	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	13,743	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
31年度	削減率	8.46	%	削減率		%		8.7
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>・千曲川流域下水道下流処理区終末処理場において、処理水量及び汚泥焼却量が大幅に減少し、同上流処理区終末処理場及び諏訪湖流域下水道事務所豊田終末処理場における汚泥焼却量が減少したため。</p>							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	2230	t-CO <sub>2</sub>			
28年度						
目標年度	目標排出量	2163	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3	%
31年度						
目標設定に関する説明	エコドライブの徹底や公用自転車の活用等の職員努力による削減、また、次世代自動車、低燃費低公害自動車を導入する等設備更新による削減を通して、毎年1%の削減とし、3年間で3%の削減目標を設定した。					
第一年度	排出量	2346	t-CO <sub>2</sub>	削減率	-5.21	%
29年度						
排出量等の増減理由	エコドライブの徹底や公用自転車の活用等の職員努力による削減、また、次世代自動車、低燃費低公害自動車を導入する等設備更新を進めているが、公用車での出張が増えたことなどによりガソリンの使用量が大幅に増加した。					
第二年度	排出量	2253	t-CO <sub>2</sub>	削減率	-1.04	%
30年度						
排出量等の増減理由	自動車使用台数及び軽油の使用量は昨年度に比べて増加したものの、ガソリンの使用量が減少(△4.8%)したことにより全体として排出量が減少した。					
第三年度	排出量	2168	t-CO <sub>2</sub>	削減率	2.78	%
31年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	自動車保有台数は増加したが、ガソリン及び軽油の使用量が減少したことで、排出量が減少した。					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握	実施済		実施済	実施済	実施済	
	2	エコドライブの励行	実施済		実施済	実施済	実施済	
III、IV	—	次世代自動車の導入	実施中	第三年度	実施中	実施中	実施中	定期的な導入を順次行っていく

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	150103 変圧器容量の見直し及び統合	31	14	30	39
2	エネ起	140203 節水コマ、節水シャワーヘッドの設置	31	1		
3	エネ起	310200 主要設備等の保全管理	29～31	22	29～30	22
4	エネ起	310400 エネルギー使用量の管理	29～31	317	29	77
5	エネ起	150201 照明器具をLED照明に更新	29～31	1.1		
6	エネ起	150303 運転方法の見直しによる電気量の削減	29～31	3	29～30	395
7	エネ起	その他 未利用消化ガスの利用	29～31	1.1		
8	エネ起	その他 運転管理の見直し	29～31	16.6	29～30	16.6
9	エネ起	150104 需要率、負荷調整			30	5
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	240	120	229	229	320
風力	kW	2	0	2	2	2
小水力	kW	2180	0	2180	2180	2180
太陽熱	m <sup>2</sup>	325	0	325	325	325
バイオマス熱	kW	2110	0	2096	1991	2100

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	1930		328	70	1456
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	2	18,691	2	18,472	2	18,460	2	17,690
1,500k1以上 3,000k1未満	2	7,667	3	10,950	3	11,290	2	6,405
1,500k1未満	1,847	34,413	1,846	30,003	1,845	28,238	1,845	28,269
合計	1,851	60,771	1,851	59,425	1,850	57,988	1,849	52,364

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>	2200	2225	2250	2189
N <sub>2</sub> O	12814	12218	12814	11554
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	15014	14443	15064	13743

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	37	39	46	46
合計	37	39	46	46
自動車総数	1533	1492	1504	1510
次世代車導入割合	2.4	2.6	3.1	3

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	・「中小規模事業者省エネ診断事業」の実施
その他	・長野県中小企業融資制度「新事業活性化資金（節電・省エネ対策向け）」の創設

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率は38.3%となっているが、以下に掲げることを行い、ノーマイカー通勤の職員への普及に努めている。 ・ノーマイカーデーを設定（毎月第2、4水曜日）している。 ・「県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク」に参加し、公共交通機関や自転車の利用を職員に促している。 ・通勤手当の見直しにより近距離通勤の自転車や徒歩への誘導を行っている。
公共交通機関の利用促進	「公共交通機関利用促進デー」を毎週水曜日に設定するほか、強調月間を9月に設定し、職員への呼びかけを行っている。
来客者の交通対策	研修会やセミナーといった行事等における県機関等への来庁者に対し、開催案内等により、公共交通機関等の利用を促している。
物流の合理化	国、市町村及び現地機関等を対象とした文書収発の集中化を行っている。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	エコマネジメント長野	平成24年度
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	・温室効果ガス削減のための長野県職員率先実行計画を策定し、県のすべての機関を対象とした地球環境に配慮した事務事業の推進活動を継続実施している。 ・信州省エネ大作戦（夏・冬）実施している。
第一年度実績	・温室効果ガス削減のための長野県職員率先実行計画を策定し、県のすべての機関を対象とした地球環境に配慮した事務事業の推進活動を継続実施している。 ・信州省エネ大作戦（夏・冬）を実施している。
第二年度実績	・温室効果ガス削減のための長野県職員率先実行計画を策定し、県のすべての機関を対象とした地球環境に配慮した事務事業の推進活動を継続実施している。 ・信州省エネ大作戦（夏・冬）を実施している。・グリーン購入の推進・社会見学を実施している。
第三年度実績	・温室効果ガス削減のための長野県職員率先実行計画を策定し、県のすべての機関を対象とした地球環境に配慮した事務事業の推進活動を継続実施している。 ・信州省エネ大作戦（夏・冬）を実施している。・グリーン購入の推進・社会見学を実施している。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	・照明安定器インバーター化及びLED照明化 ・焼却炉の燃焼に消化ガスを利用 ・施設再構築時に設備更新による省エネ機器の導入、中央監視室他常時点灯箇所の蛍光灯を省エネ型灯具に交換（削減電力2.9kW）	490
その他	・政府推奨の空調温度設定（冷房28℃、暖房19℃） ・水処理工程の間欠運転、ブロワーの回転数制御、運転パターンの見直し	200